

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成26年5月8日(2014.5.8)

【公開番号】特開2013-106616(P2013-106616A)

【公開日】平成25年6月6日(2013.6.6)

【年通号数】公開・登録公報2013-028

【出願番号】特願2013-40650(P2013-40650)

【国際特許分類】

C 1 2 N 1/00 (2006.01)

C 1 2 N 7/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 1/00 G

C 1 2 N 7/00

C 1 2 N 5/00 1 0 2

C 1 2 P 21/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月19日(2014.3.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 0.5 mg/L のポリアミンを含む、無オリゴペプチド細胞培地であって、該培地は、DME M、ハム F 1 2、培地 1 9 9、マッコイ、または R P M I から選択される基礎培地を含み、

該培地はさらに、アミノ酸、ビタミン、有機および無機塩類、ならびに糖質の供給源からなる群より選択される 1 つまたは複数の成分を含み、各成分が、細胞の培養を補助する量で存在する、無オリゴペプチド細胞培地。

【請求項 2】

前記培地はさらに、緩衝物質、抗酸化剤、安定剤、プロテアーゼ阻害剤、および非イオン性界面活性剤からなる群より選択される 1 つまたは複数の補助物質をさらに含む、請求項 1 に記載の無オリゴペプチド細胞培地。

【請求項 3】

前記非イオン性界面活性剤は、共重合体および / またはポリエチレングリコールとポリプロピレングリコールとの混合物である、請求項 2 に記載の無オリゴペプチド細胞培地。

【請求項 4】

前記ポリアミンが、カダベリン、プトレシン、スペルミジン、スペルミン、アグマチン、オルニチン、およびその組み合わせからなる群から選択される、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の無オリゴペプチド細胞培地。

【請求項 5】

前記ポリアミンが、合成的に生成される、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の無オリゴペプチド細胞培地。

【請求項 6】

前記ポリアミンが、約 0.5 ~ 約 30 mg/L の範囲の濃度で培地に存在する、請求項

1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の無オリゴペプチド細胞培地。

【請求項 7】

前記培地が、20 以上のアミノ酸を有するオリゴペプチドを含まない、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の無オリゴペプチド細胞培地。

【請求項 8】

前記培地が、3 以上のアミノ酸を有するオリゴペプチドを含まず、場合によりグルタチオンを含む、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の無オリゴペプチド細胞培地。

【請求項 9】

前記培地が、2 以上のアミノ酸を有するオリゴペプチドを含まず、場合によりグルタチオンおよび / またはグルタミンの少なくとも 1 つの安定な形態を含む、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の無オリゴペプチド細胞培地。

【請求項 10】

前記培地が、化学的に定義されている、請求項 1 に記載の無オリゴペプチド細胞培地。